乳腺spindle cell carcinomaの一例

くまもと森都総合病院　病理診断科

木下　裕也（MT）　内田　衣里子（CT）　岩田　理央（CT）
溝上　美江（CT）　遠山　亮佐（CT）　有馬　信之（MD）

医療法人 創起会
くまもと森都総合病院

2018.02.05　熊本市

はじめに

乳腺spindle cell carcinomaは紡錘形細胞肉腫との鑑別を要する上皮性腫瘍である.

その発生頻度は全乳癌の0.08～0.72%と極めて稀である.

今回我々は，腫瘍全体が紡錘形細胞で構成された乳腺spindle cell carcinomaの１例を経験したので報告する.

症例

患者：70歳代　女性

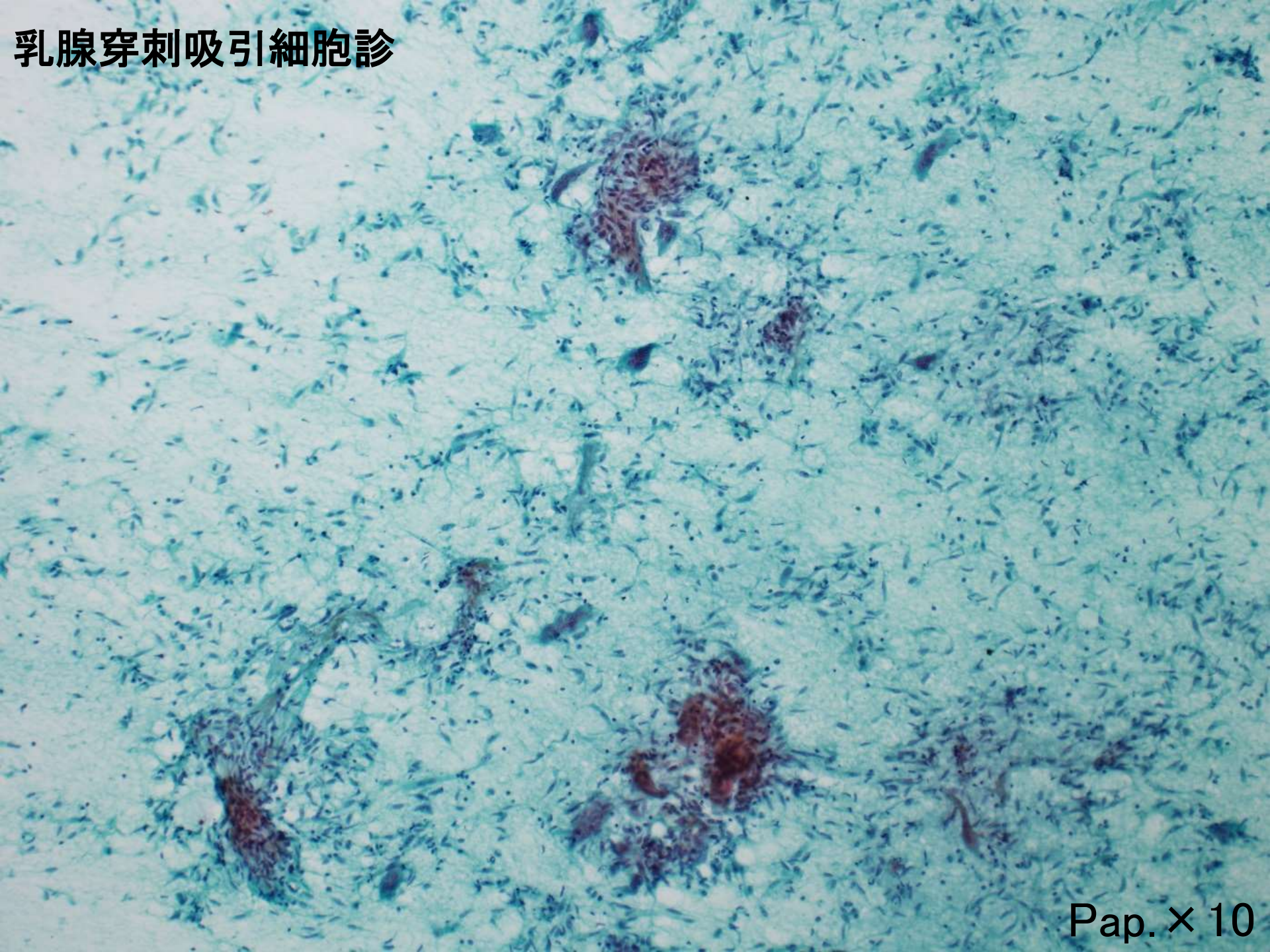
主訴：左乳房のしこり

現病歴：1ヶ月前より左乳房にしこりを自覚．超音波検査にて左C領域に約30×20mm大の低エコー腫瘤を認めた．穿刺吸引細胞診で悪性疑いと診断され，針生検による組織診にて悪性と診断し，左乳房切除術が施行された．

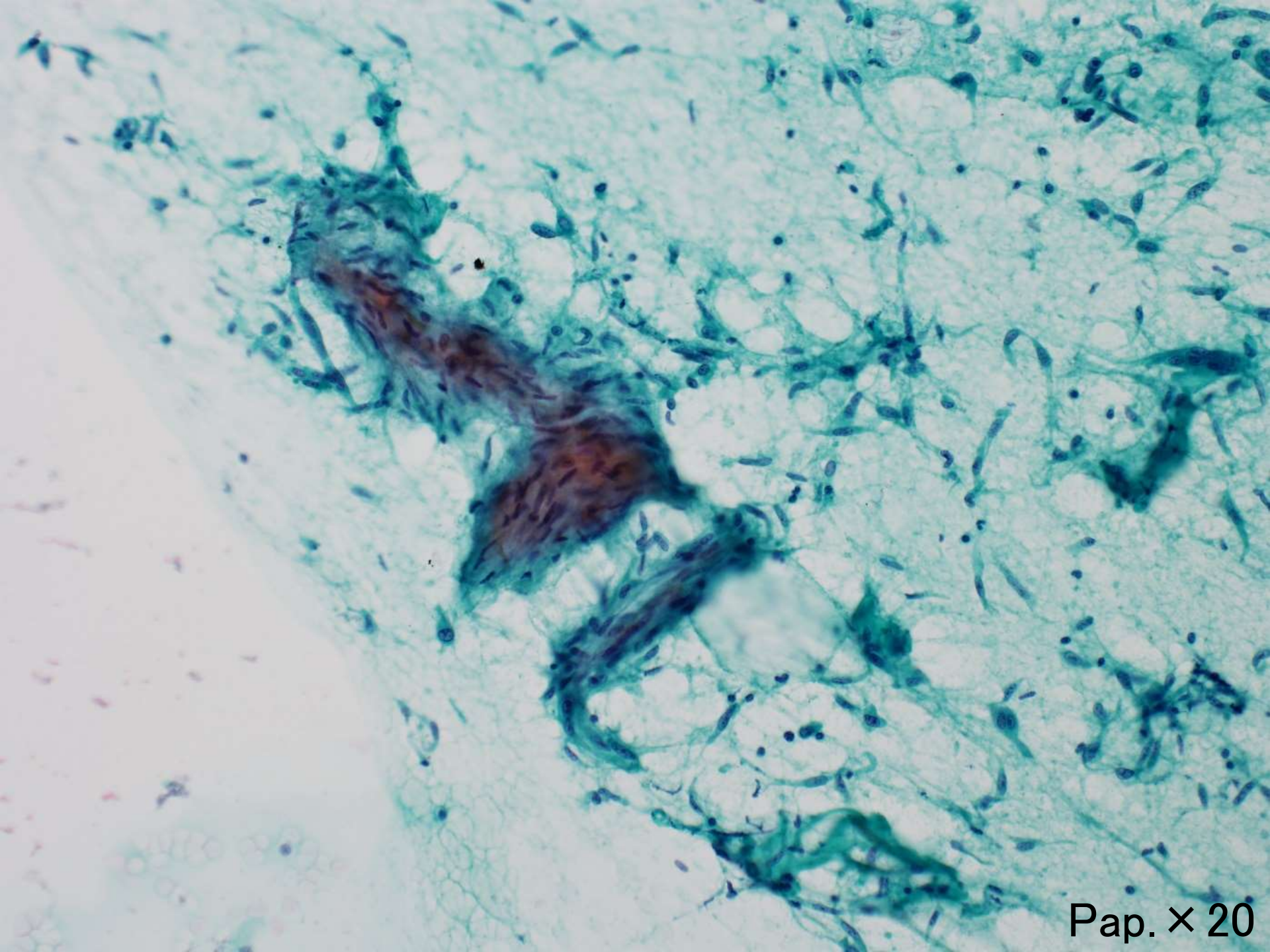
超音波画像

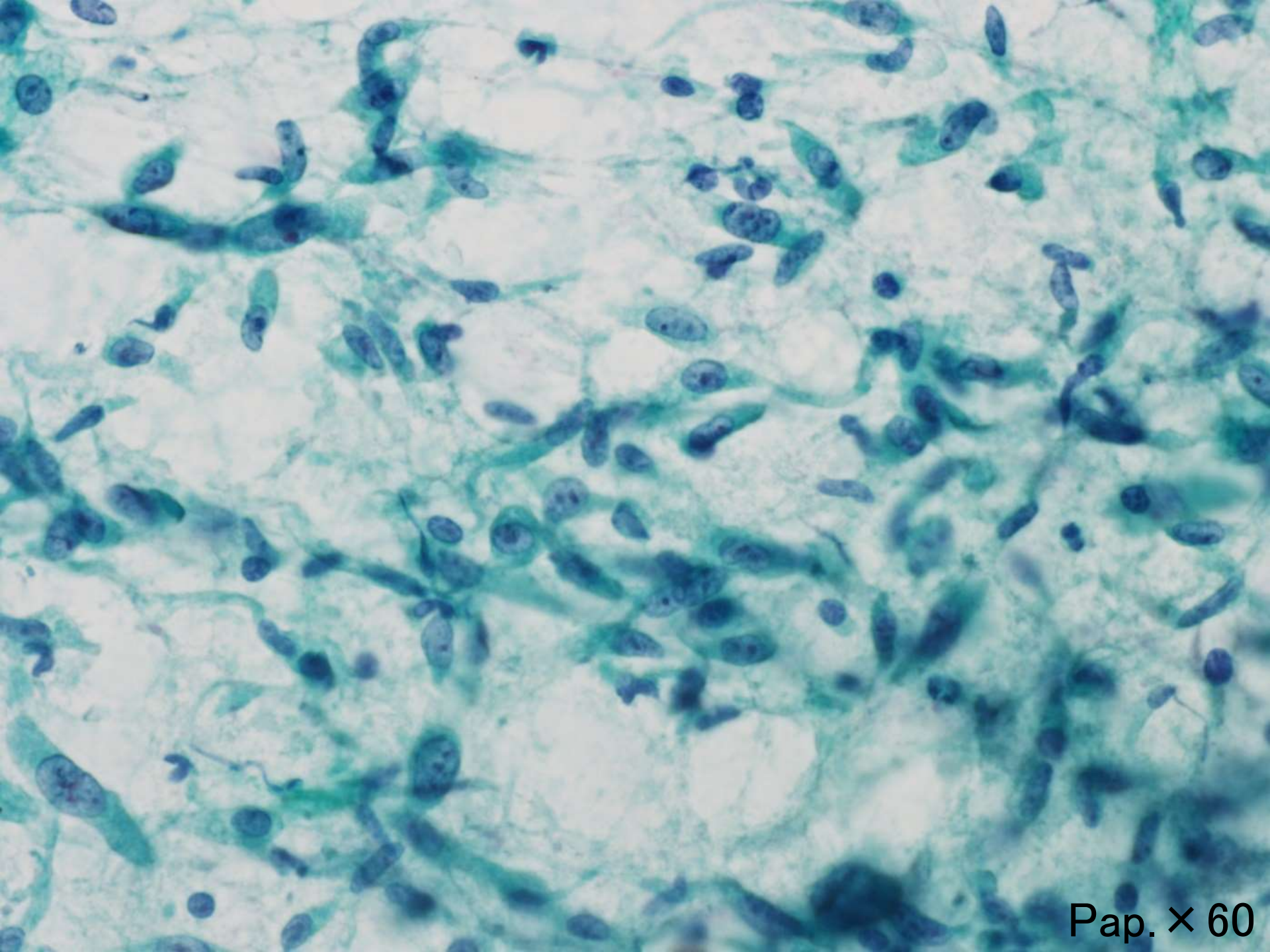

TOSHIBA
Aplio 400
KUMAMOTO SHINTO G HP
Breast 1
2017/12/04
12:30:57 PM
Precision
A Pure+
T
0
1
2
3
4
18L7
diffT13.0
33 fps
Qscan
G:84
DR:70
A:5
P:3
L
左C領域
31

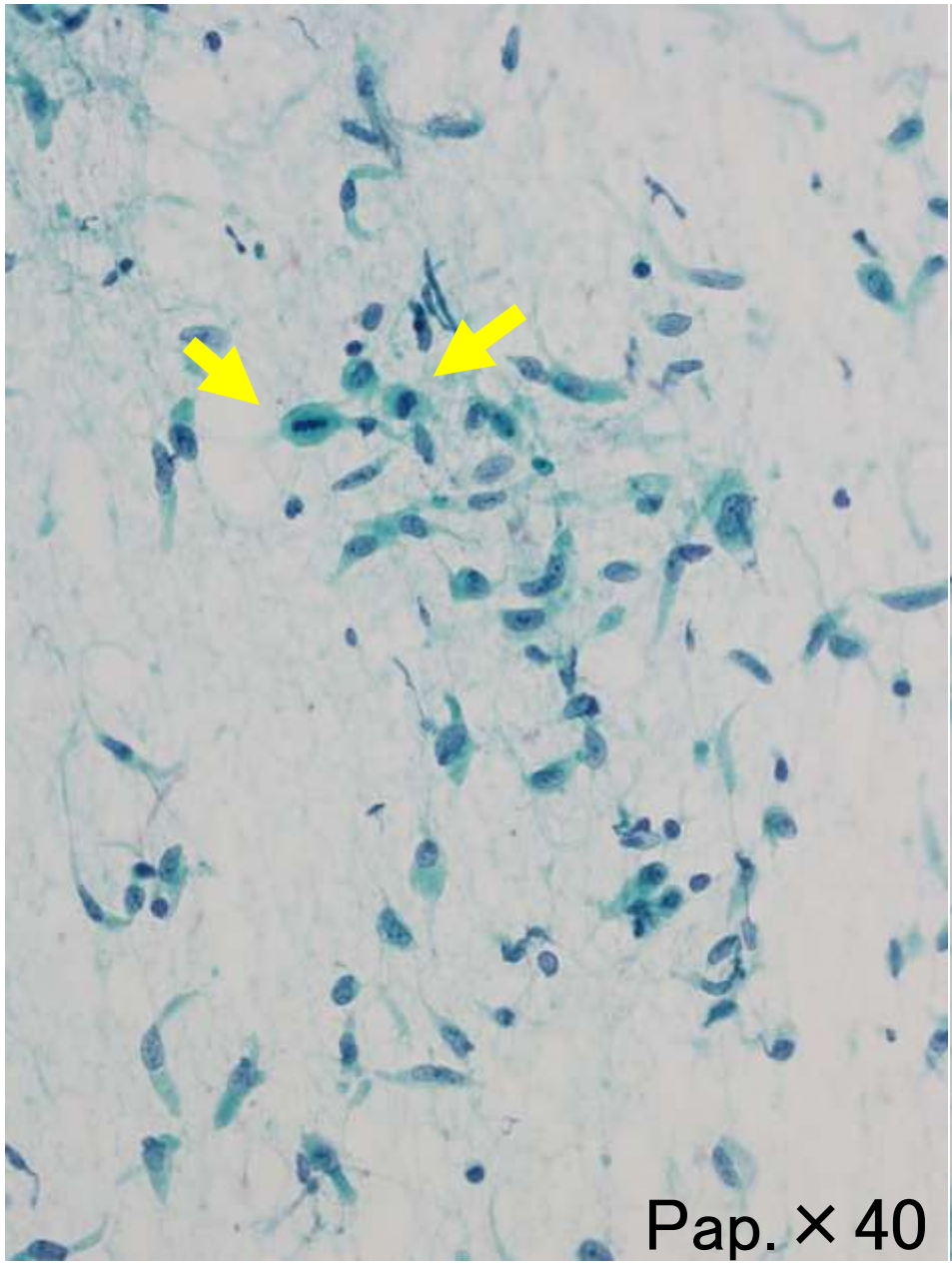
乳腺穿刺吸引細胞診

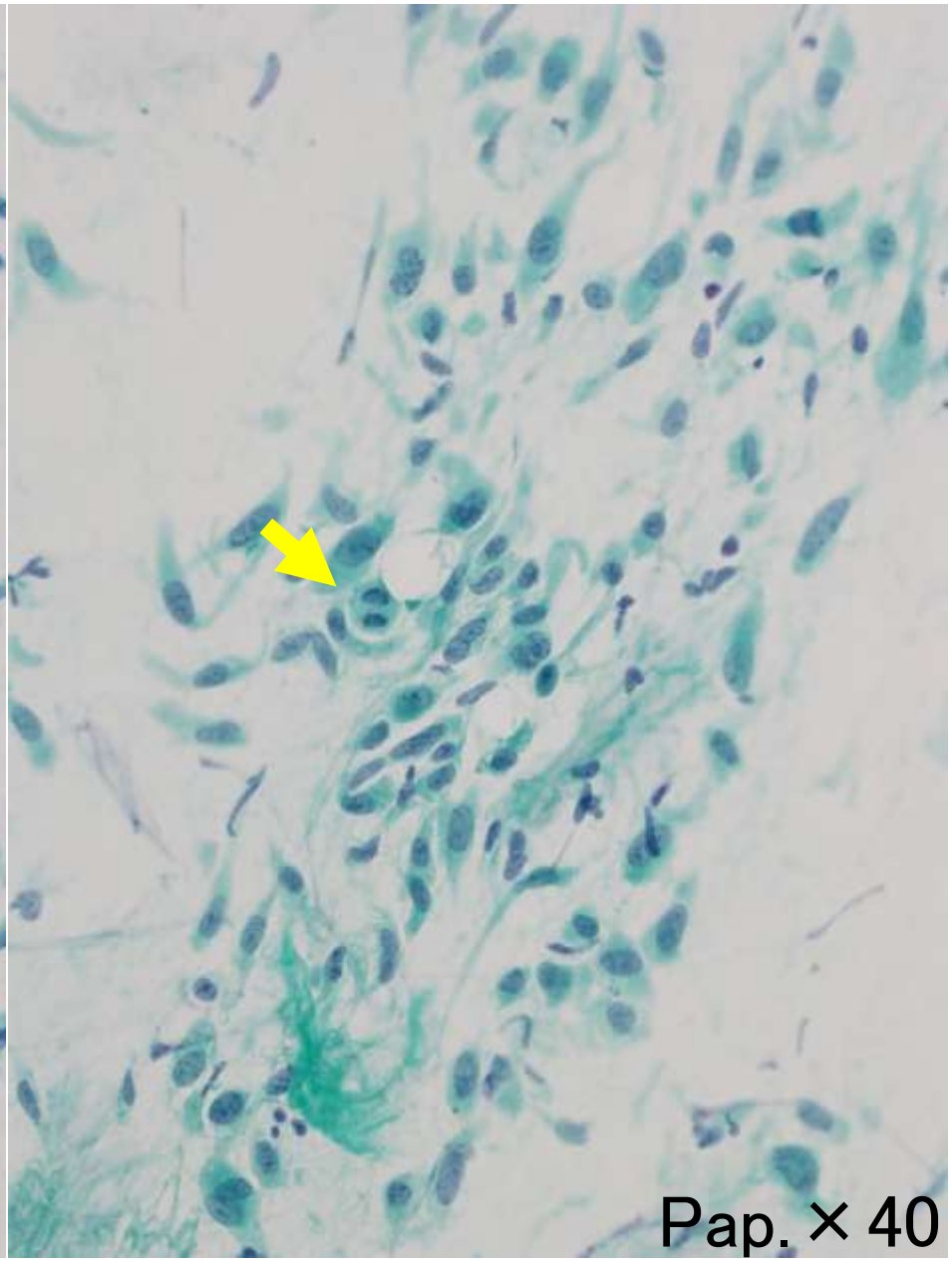


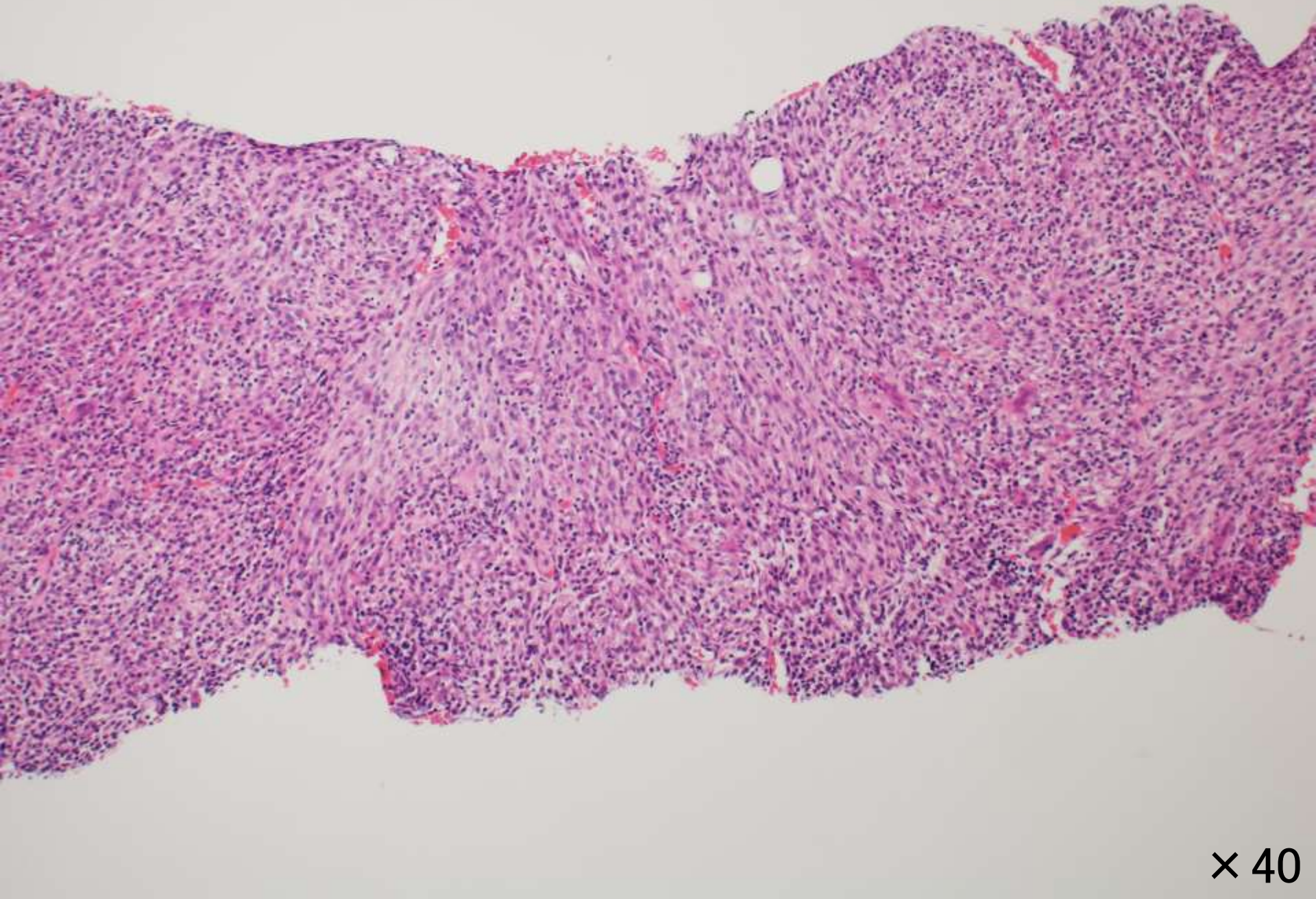
Pap.×10

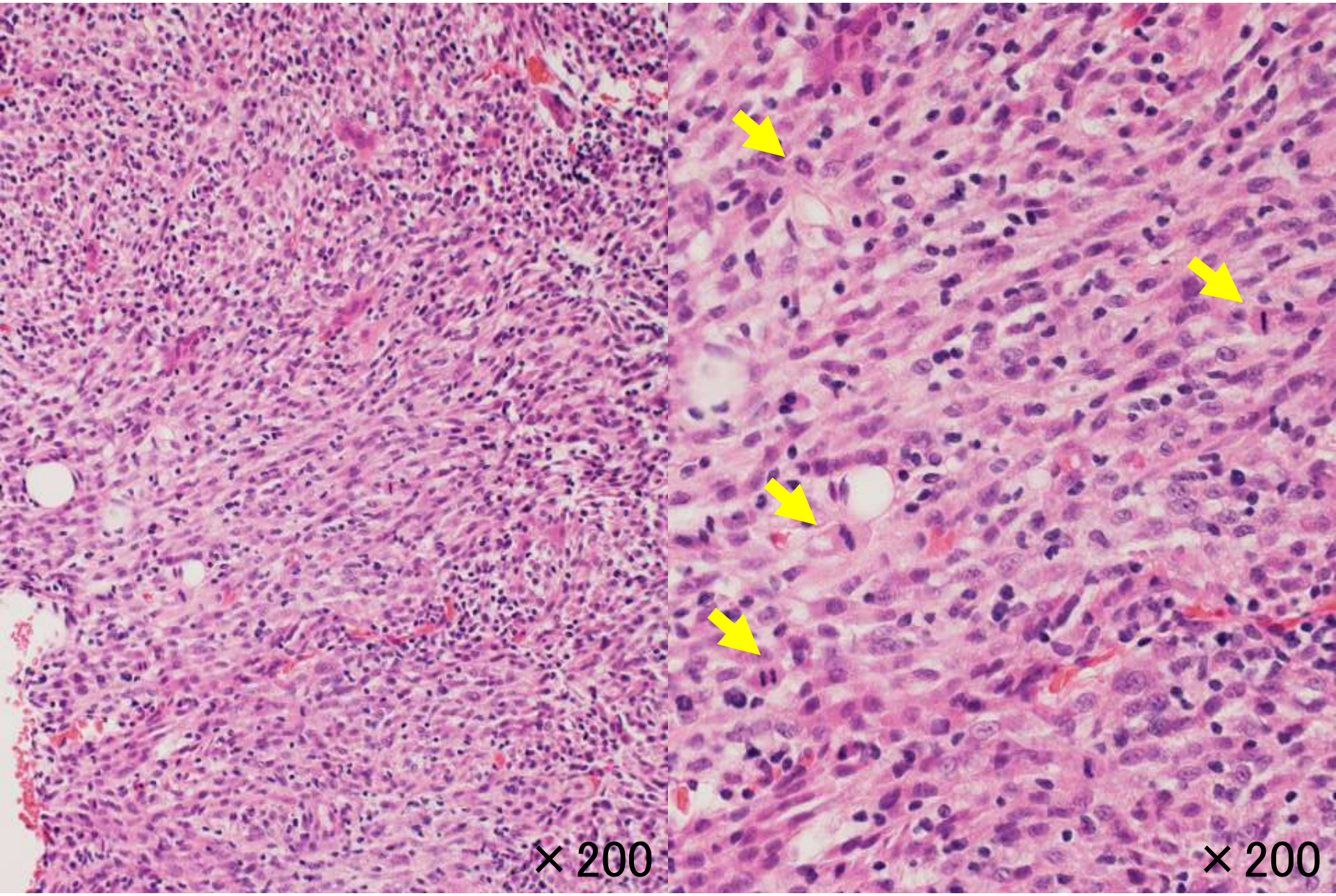

Pap. × 20

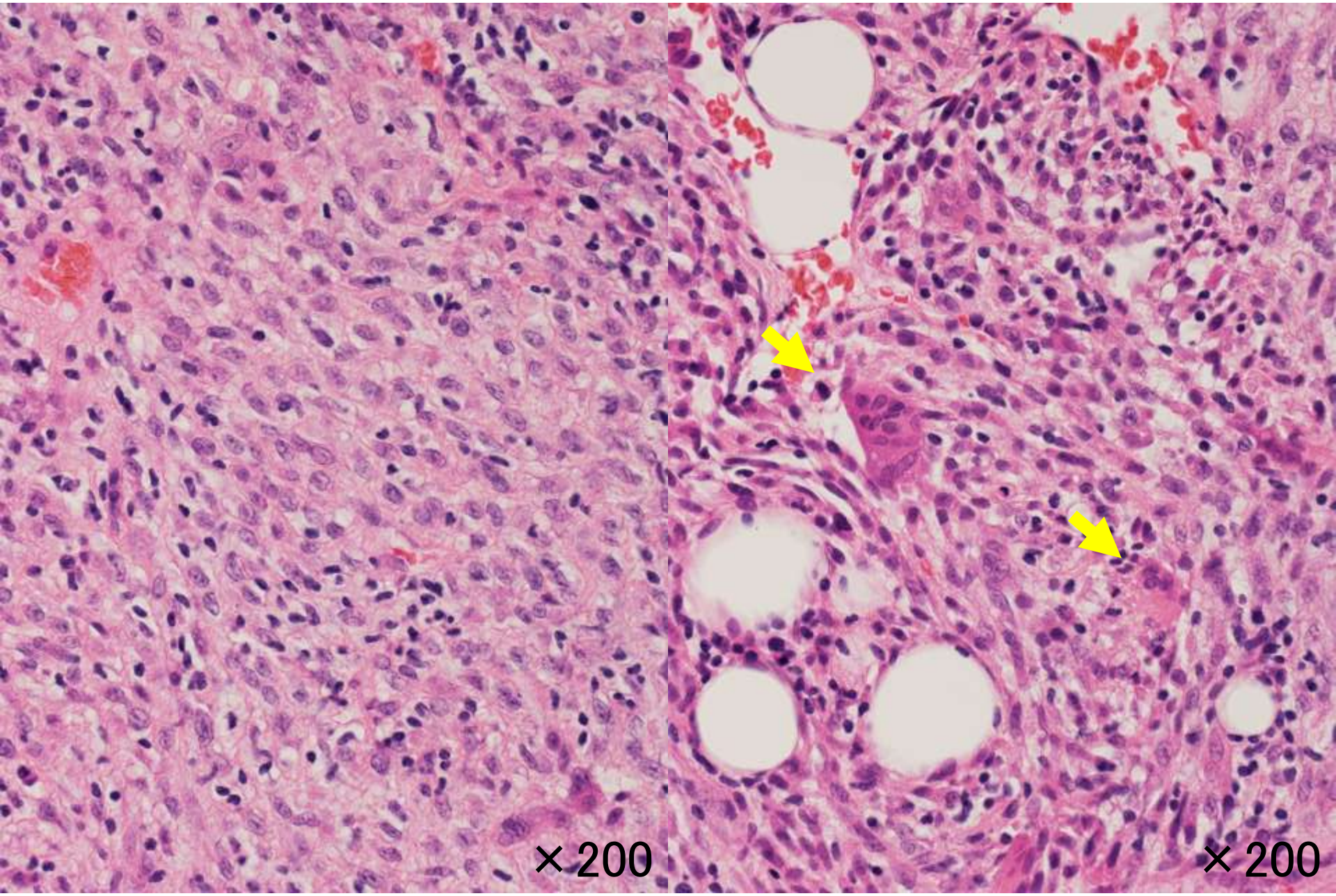

Pap. × 60

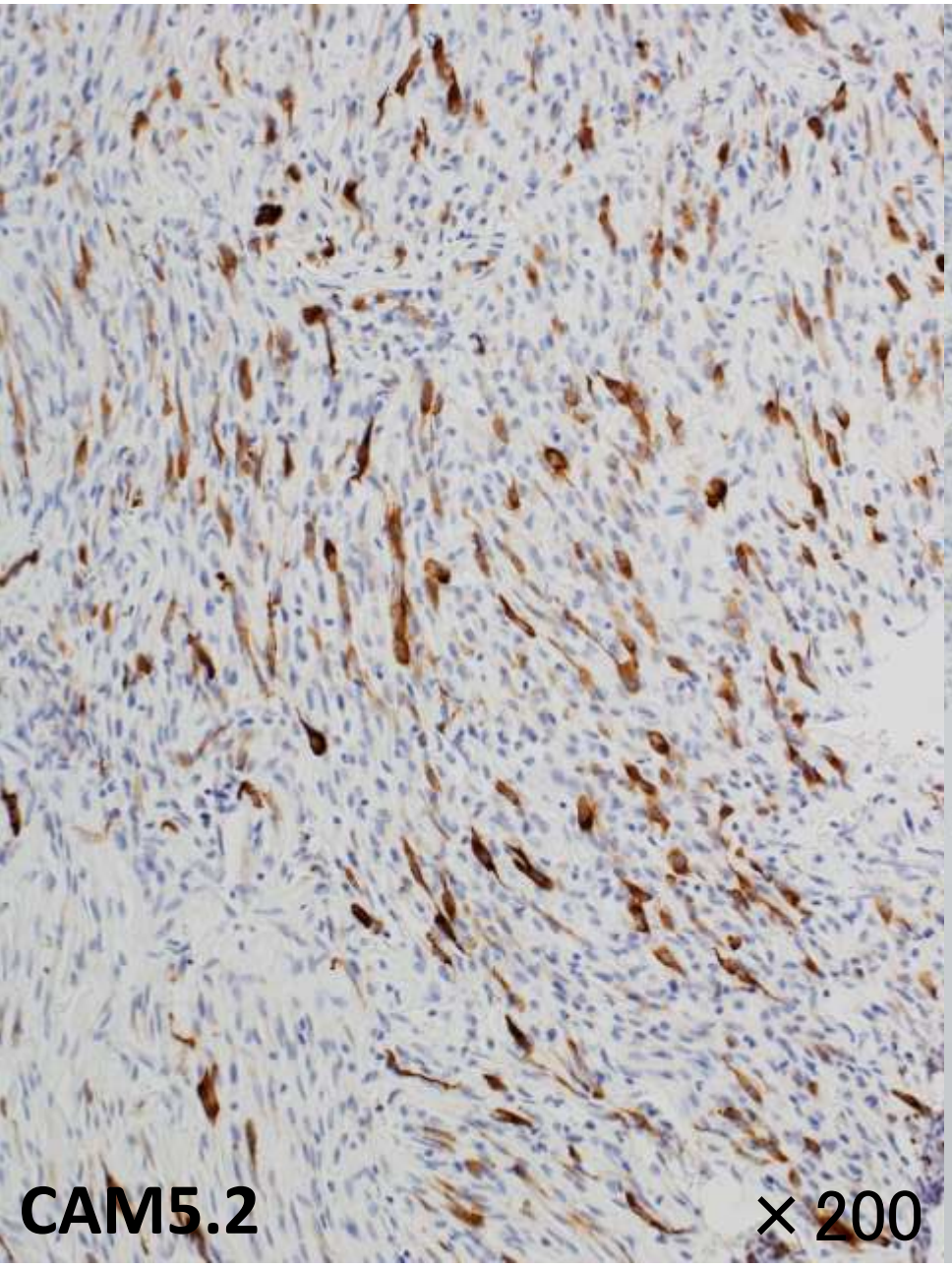

Pap. × 40

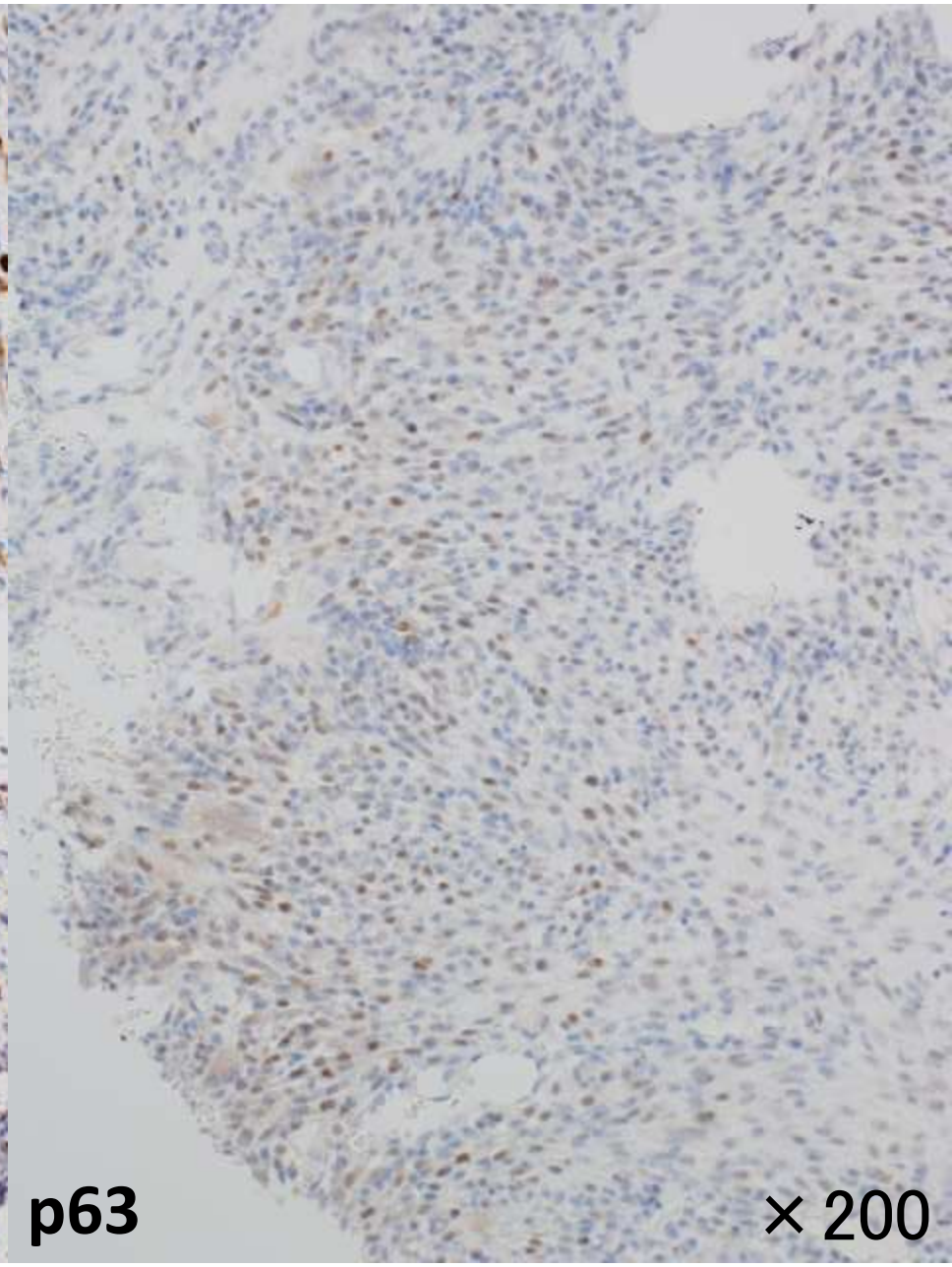

Pap. × 40


× 40


× 200
× 200


×200
×200

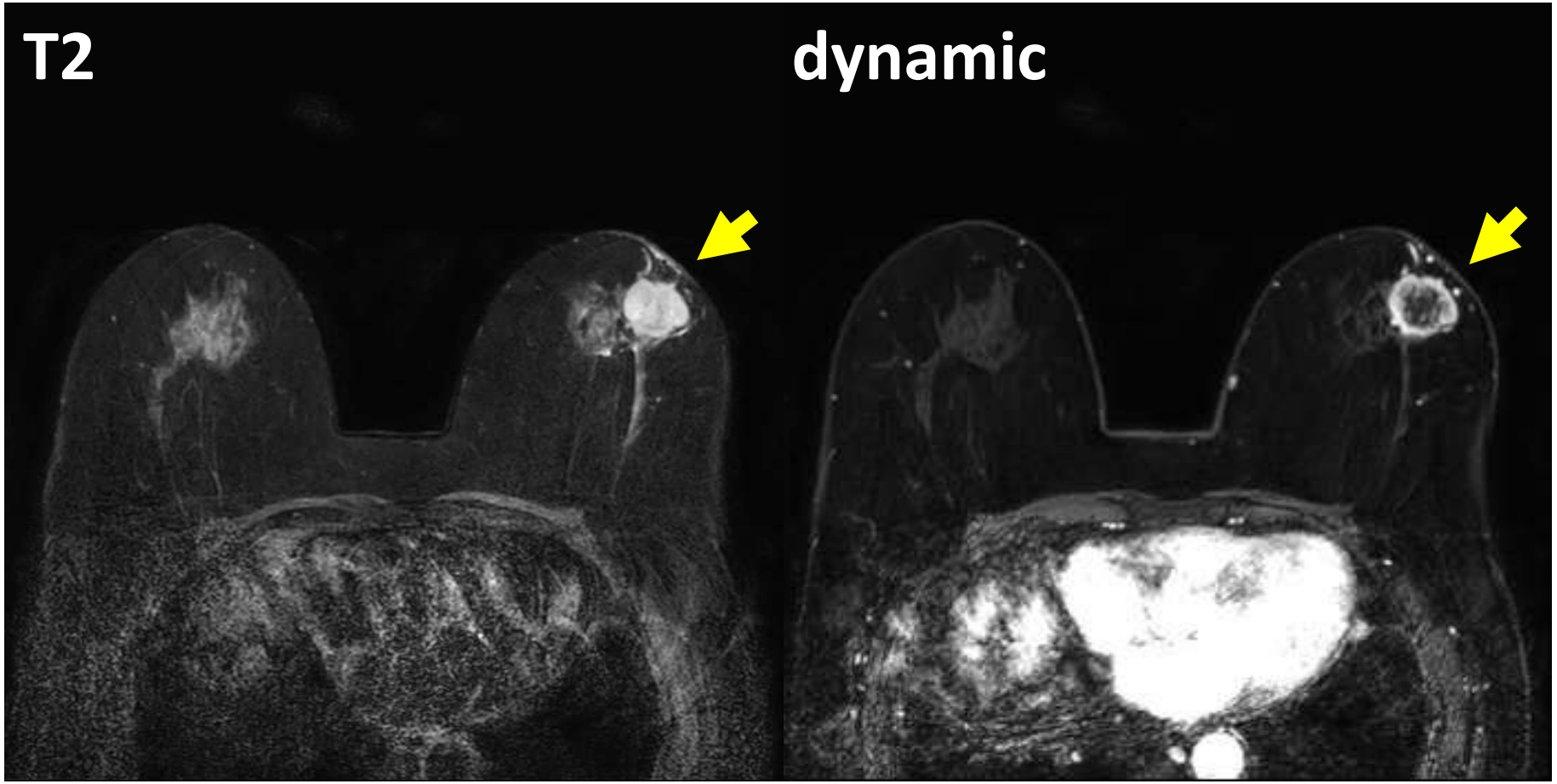

CAM5.2
× 200


p63
× 200

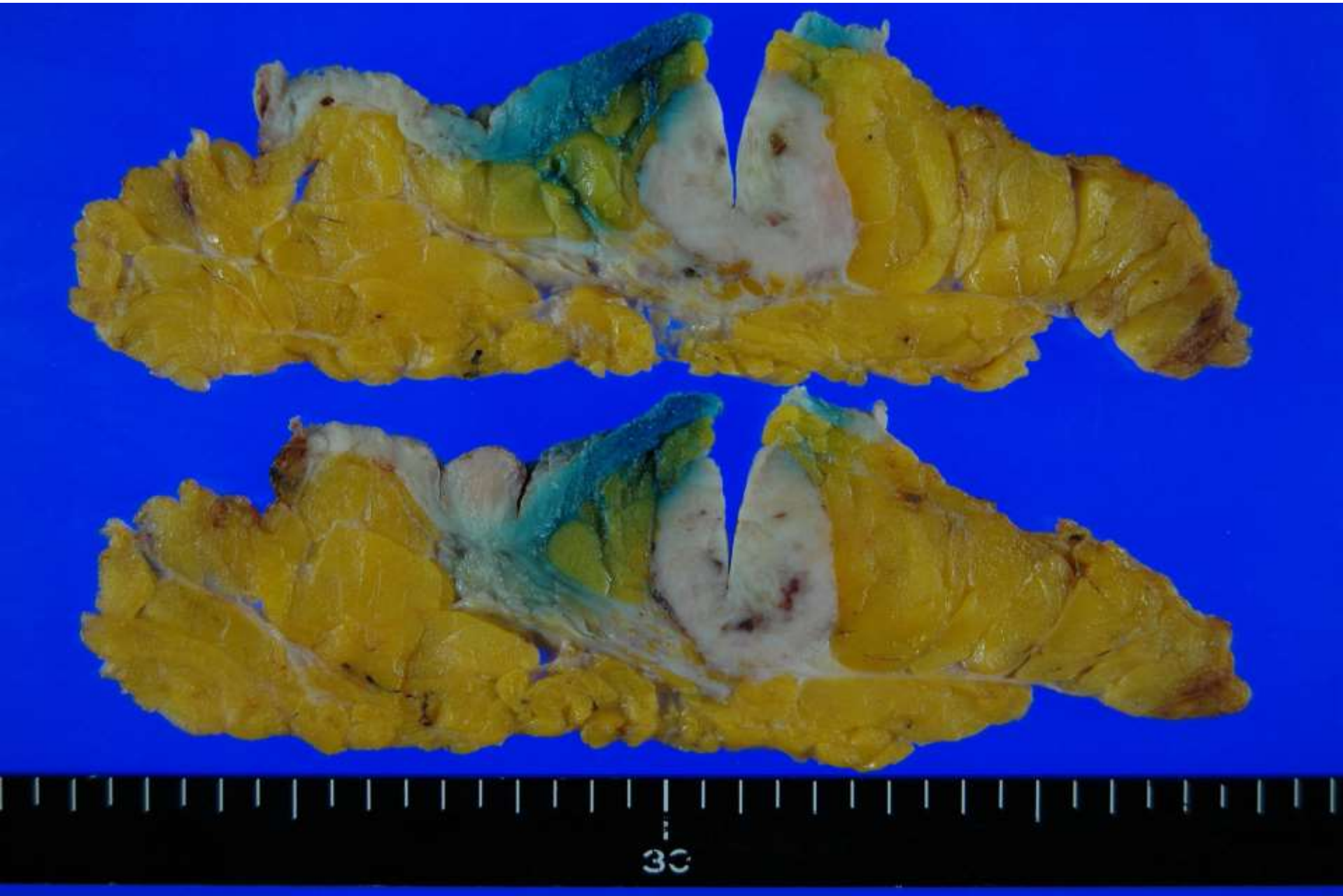
針生検診断

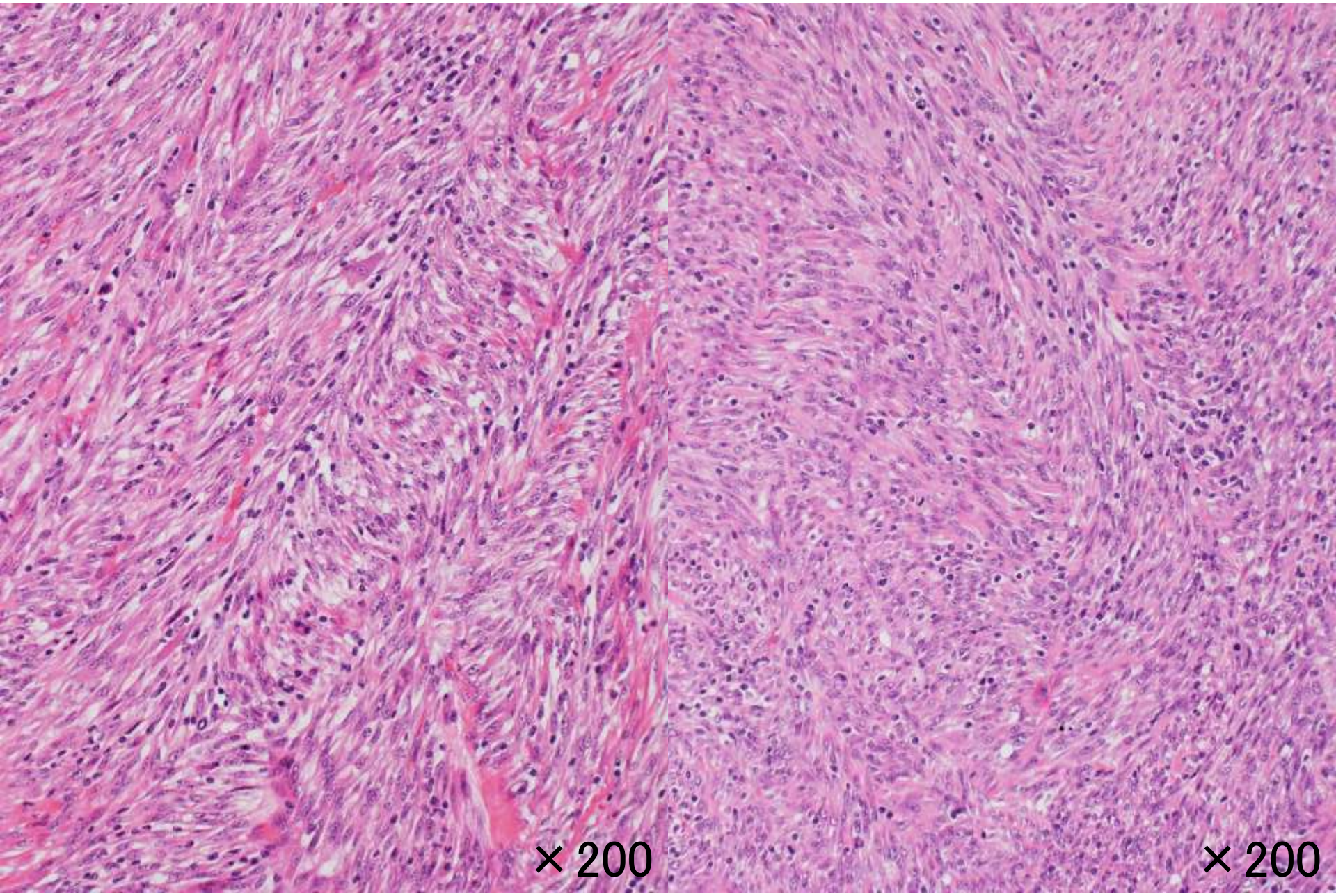
spindle cell carcinoma

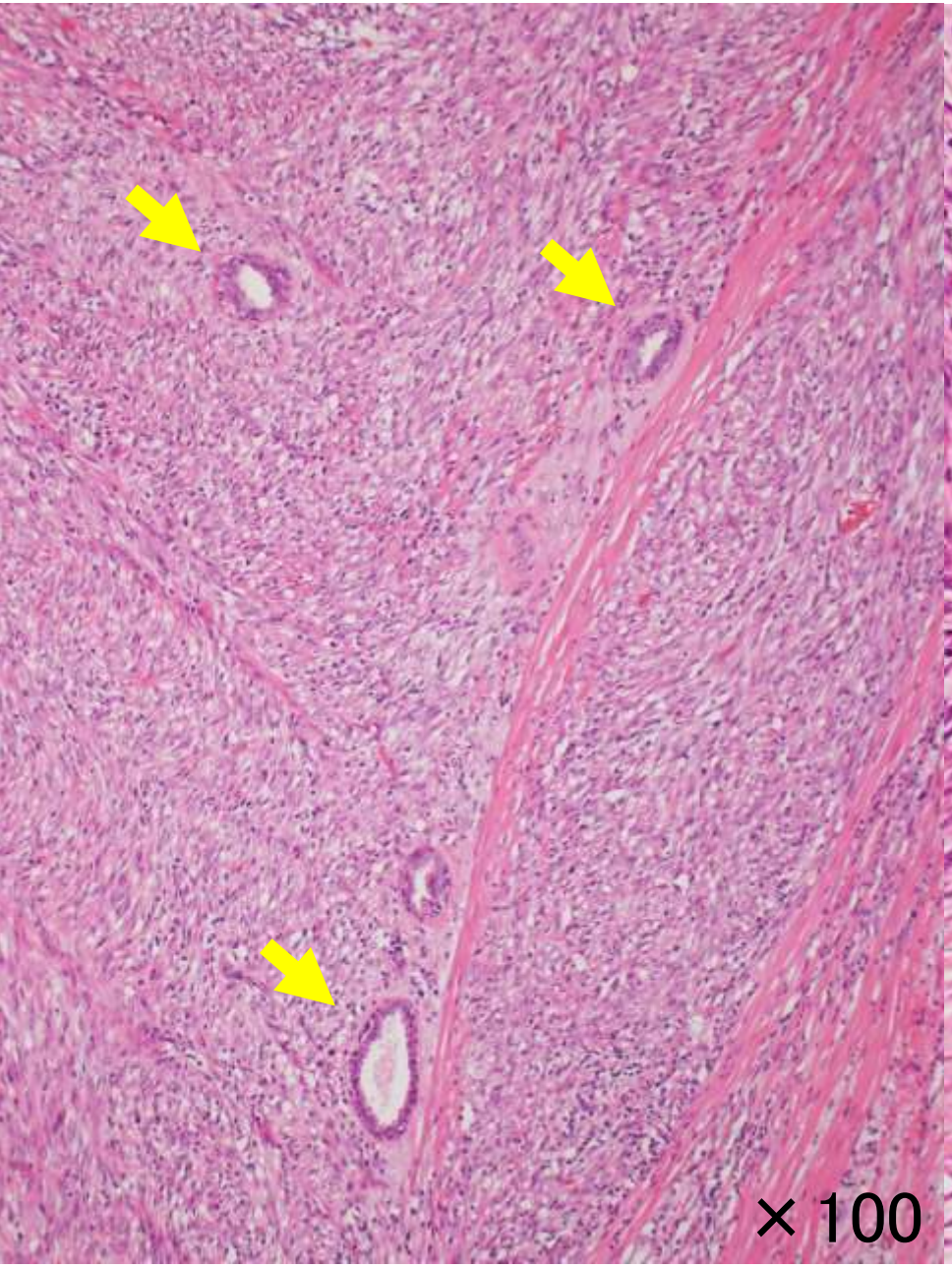
MRI画像

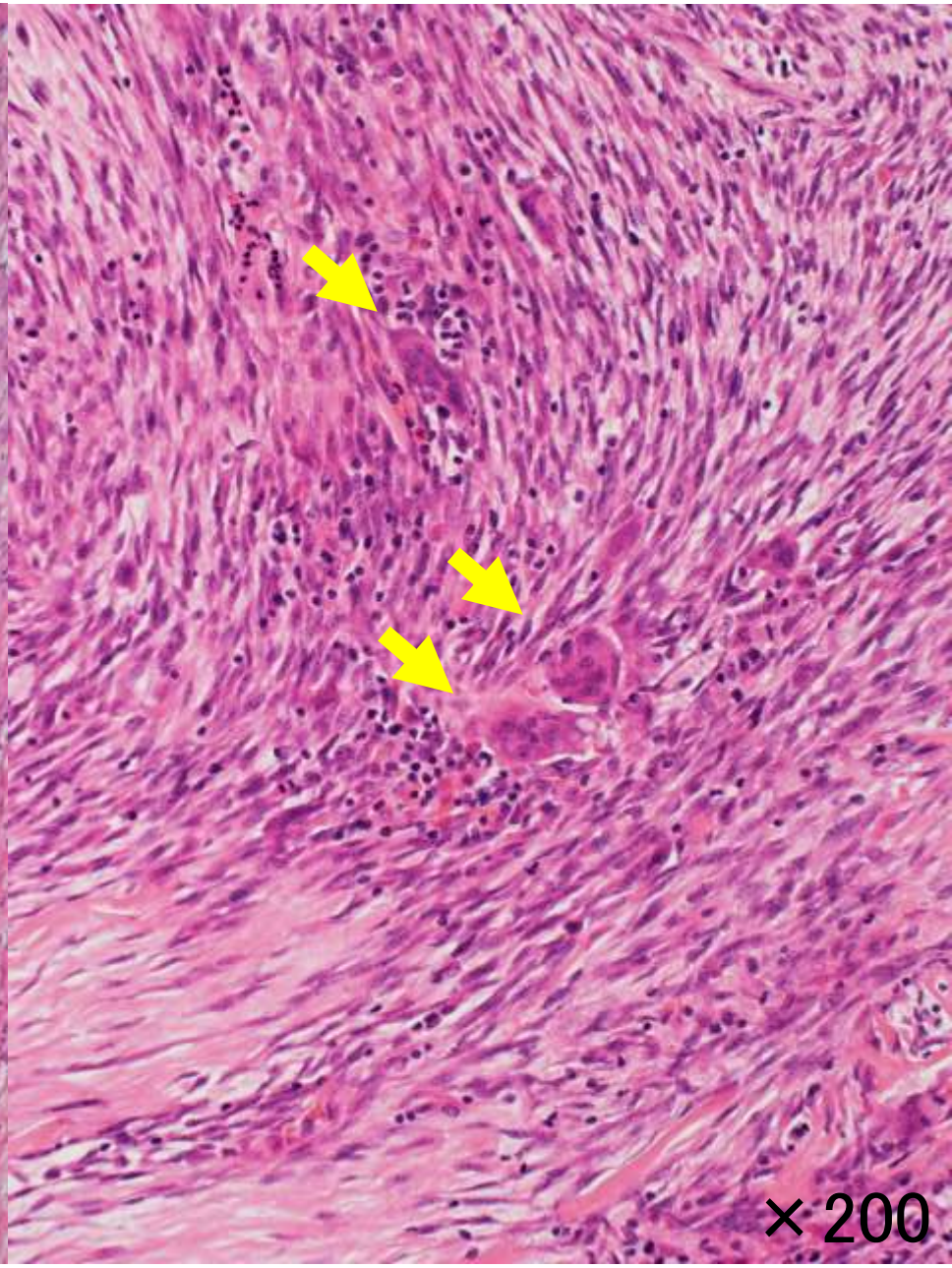


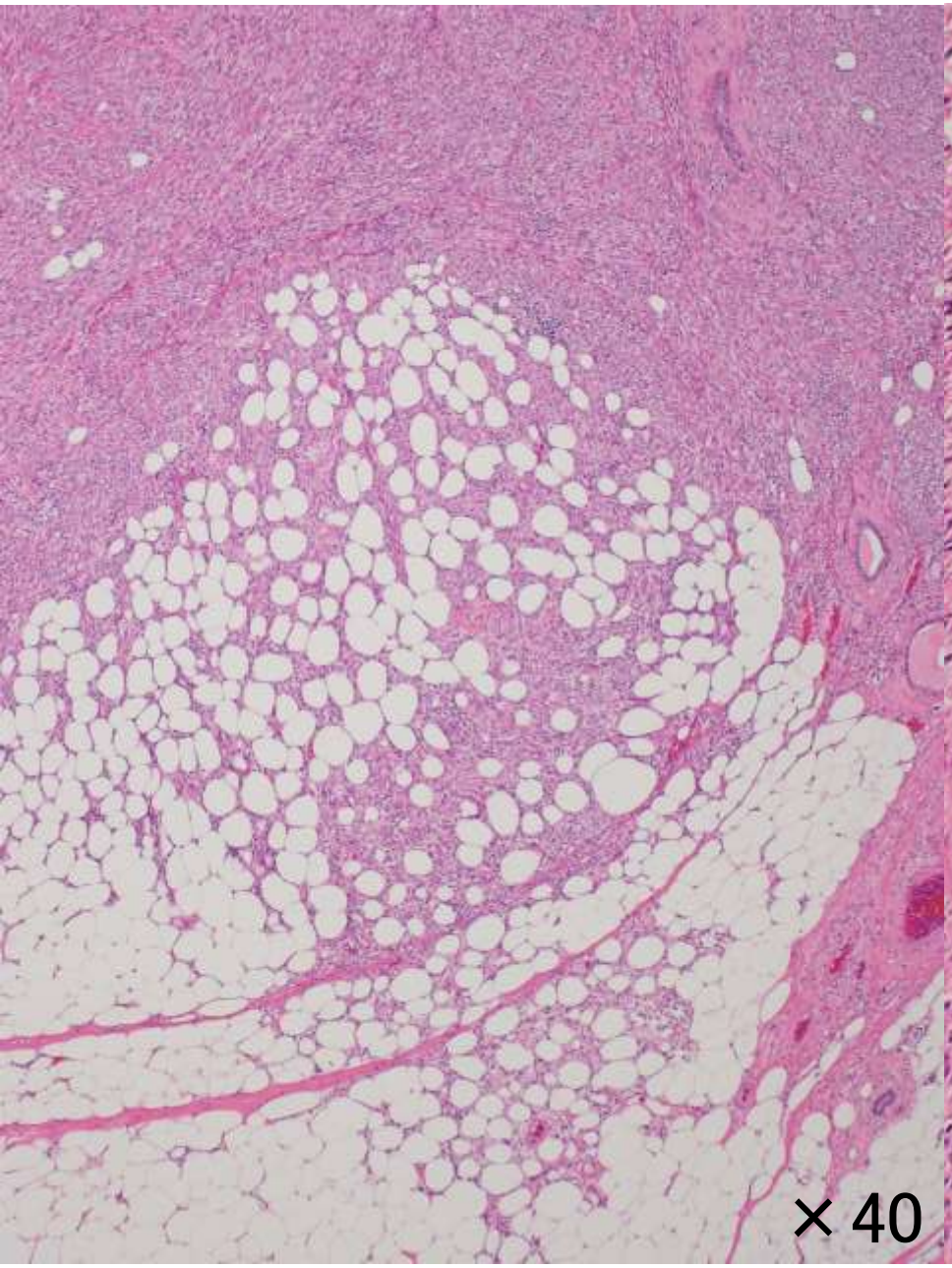
ホルマリン固定後肉眼像

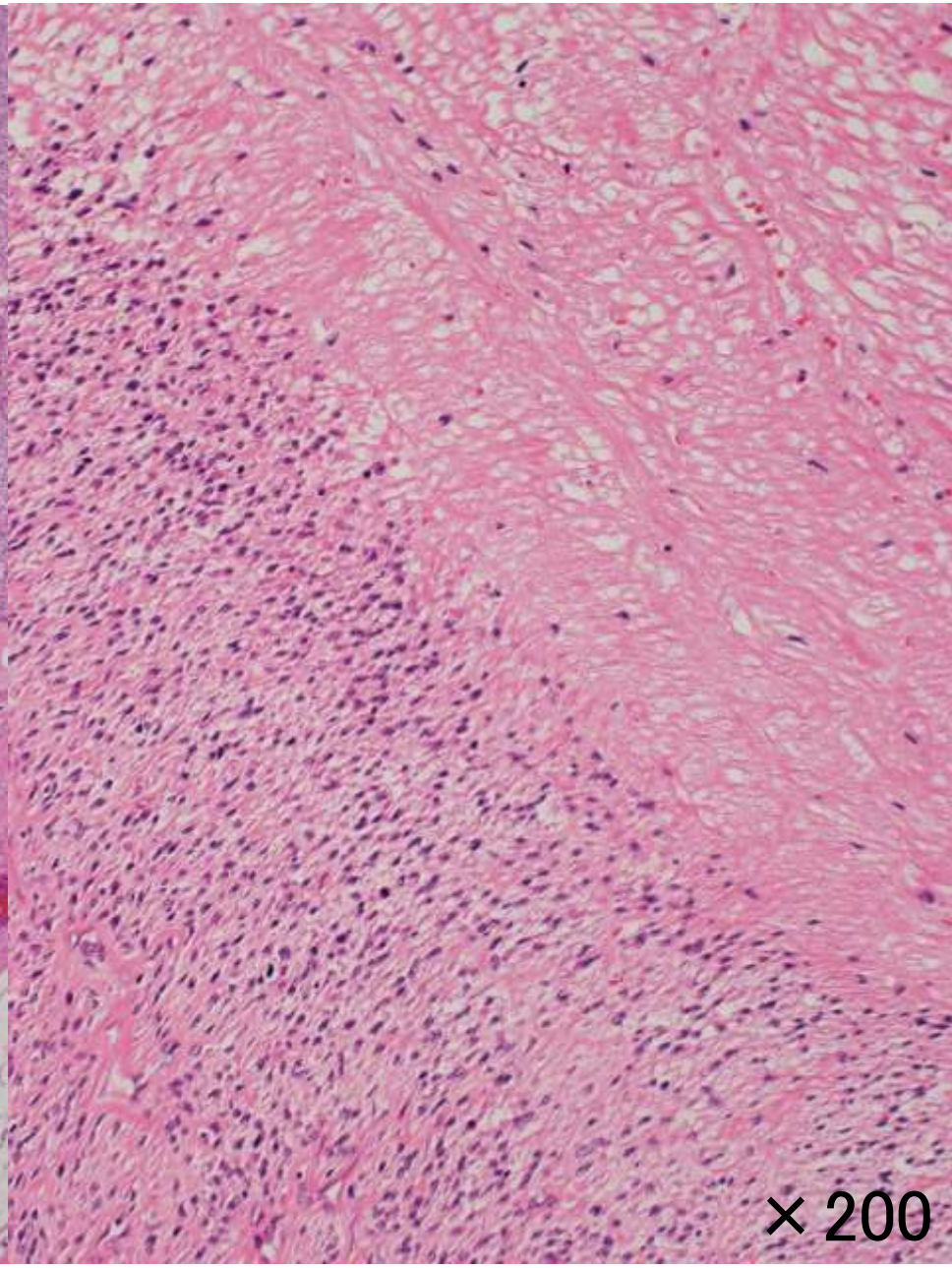


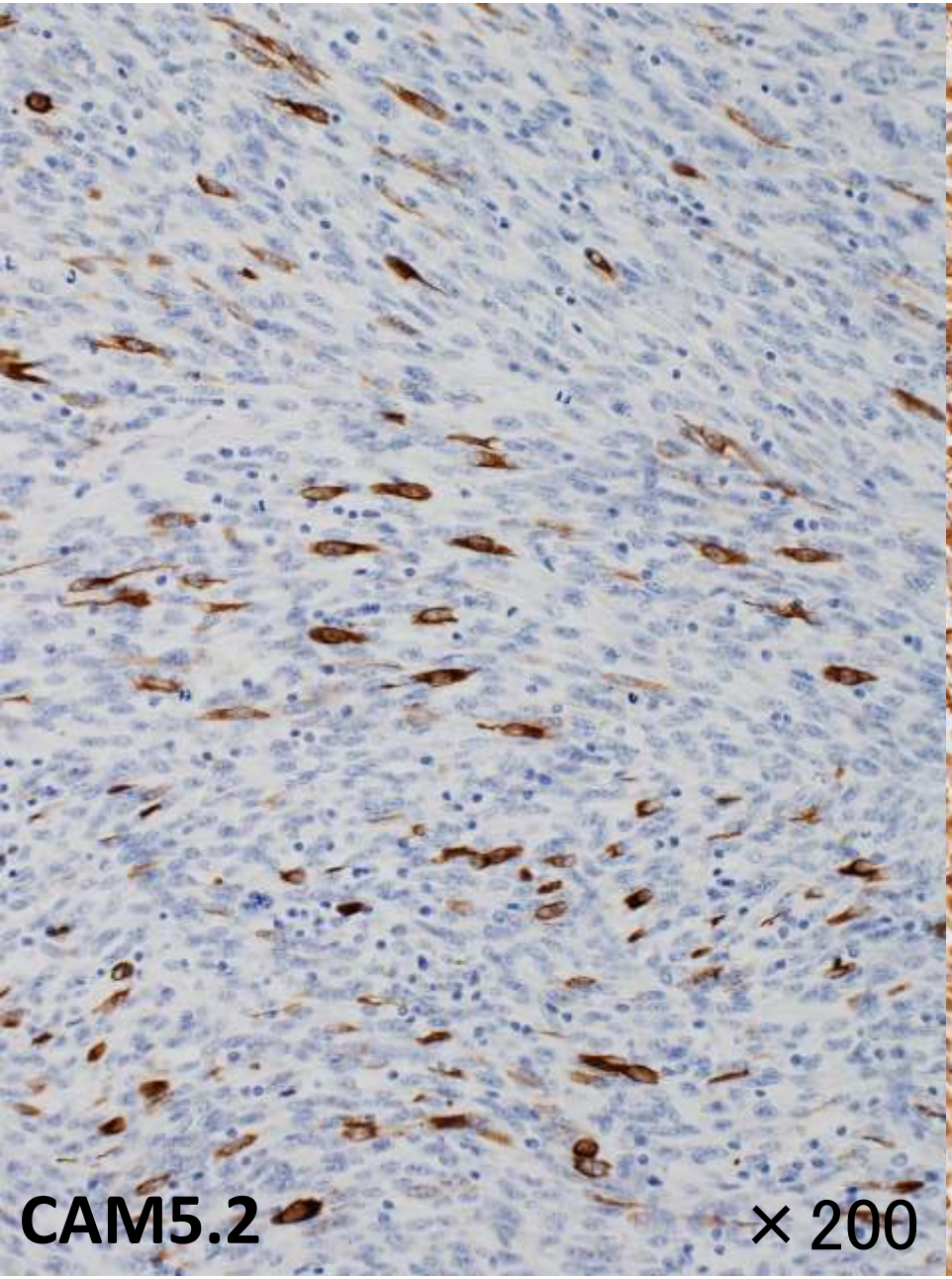

×200
×200

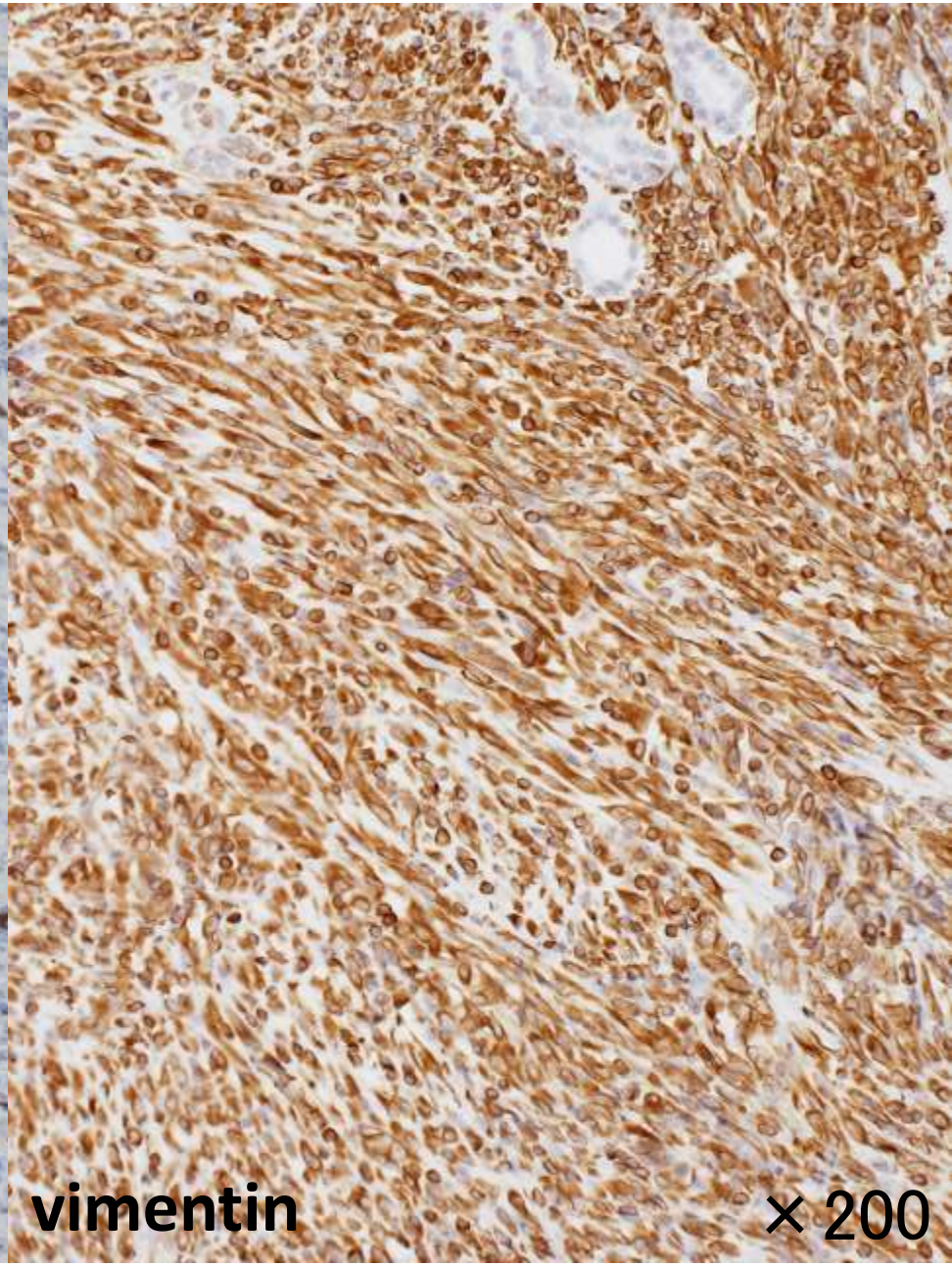

×100

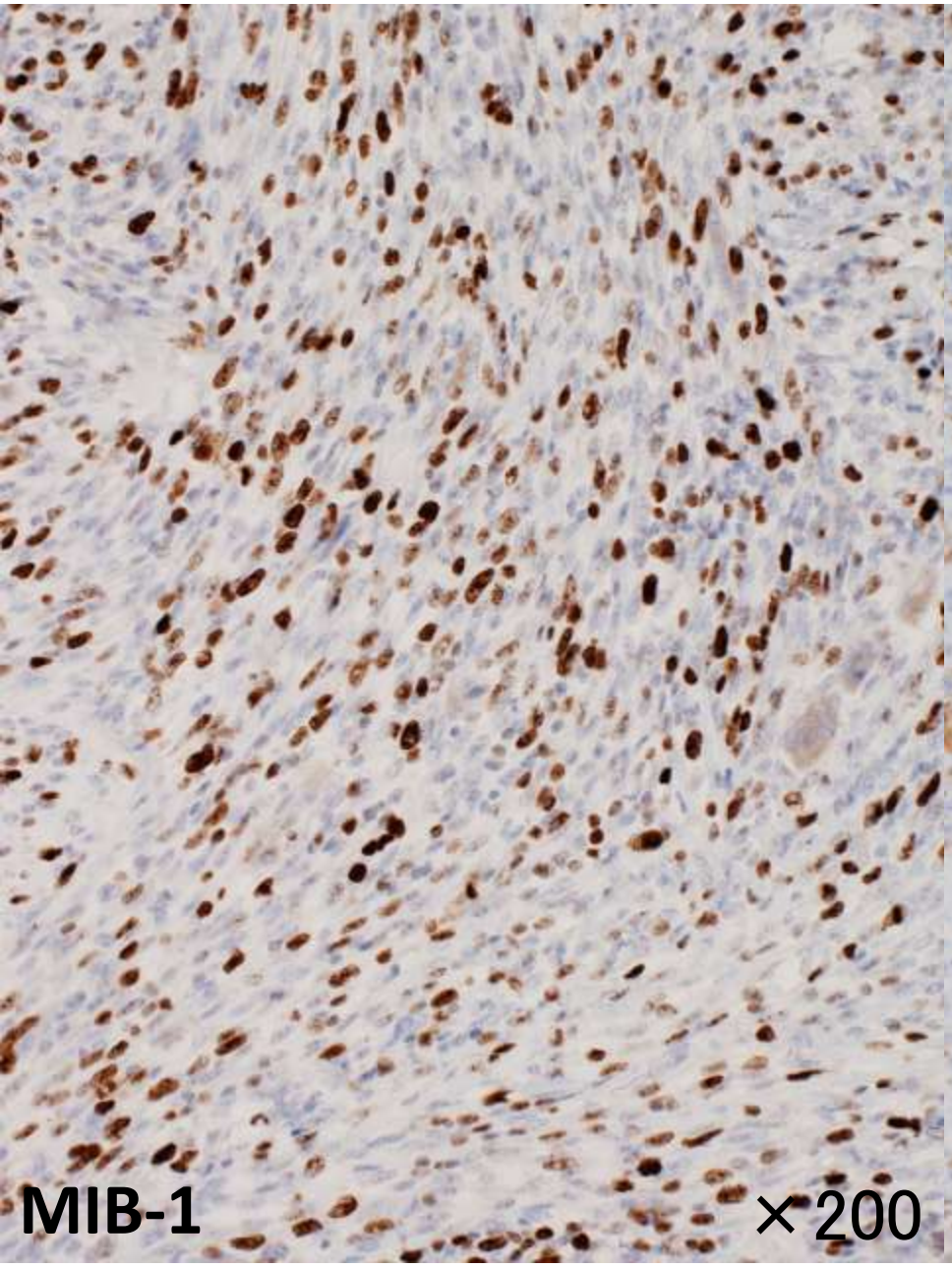

×200

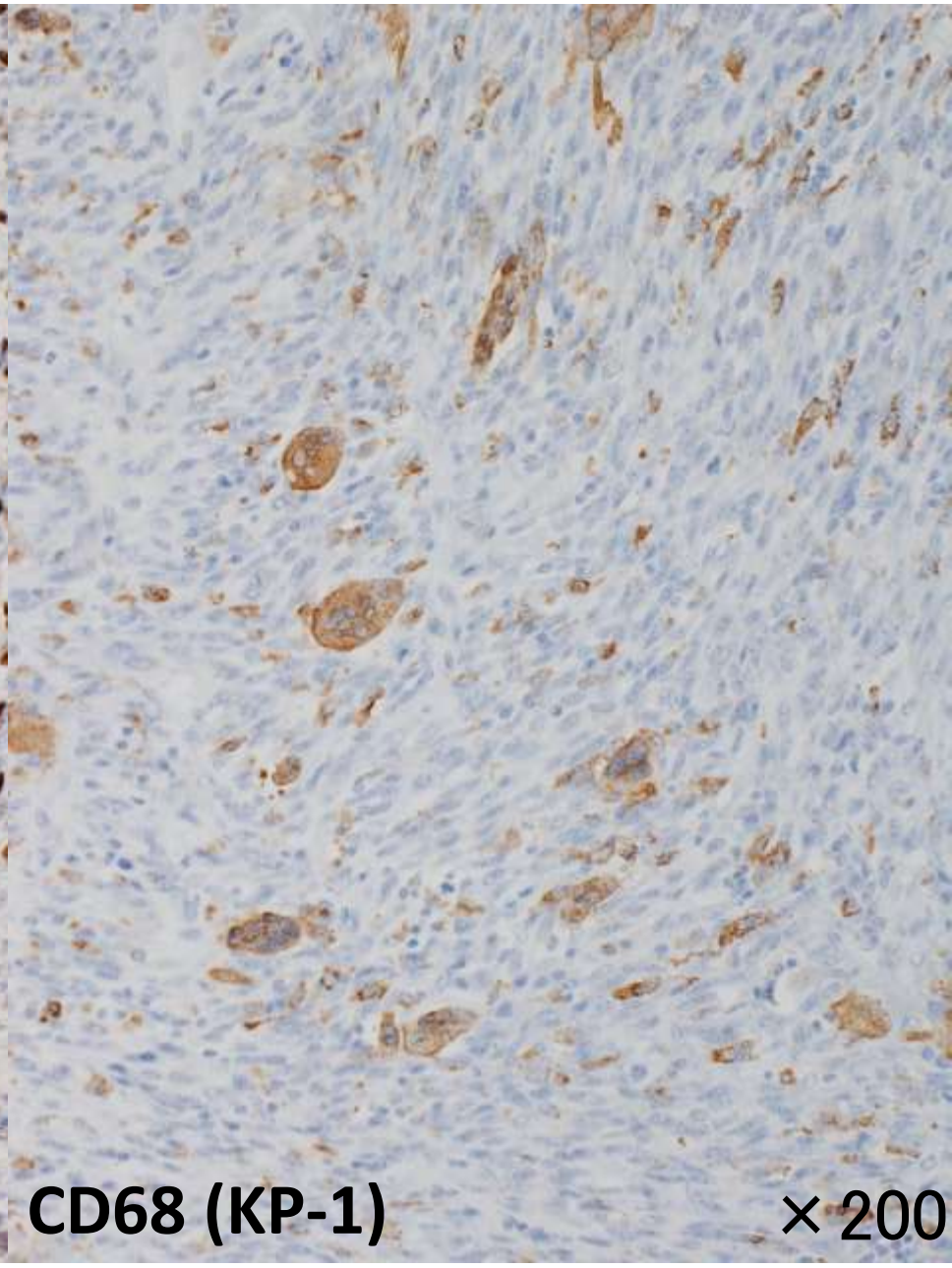

× 40


× 200


CAM5.2
× 200


vimentin
× 200


MIB-1
×200


CD68 (KP-1)
×200

免疫染色①

抗体	結果
CAM5.2	+
AE1/AE3	−
CK7	−
CK20	−
CK19	−
CK-34BE12	−
CK5/6	−
CK14	−
EMA	−

免疫染色②

抗体	結果
vimentin	+
Desmin	−
α−SMA	−
calponin	−
Caldesmon	−
S−100	−
CD34	−
c−kit	−
p40	−
p63	±
EGFR	−
CD68（KP−1）	多核巨細胞に+

病理診断

spindle cell carcinoma

乳腺spindle cell carcinoma

- 乳癌取扱い規約第17版では浸潤癌の特殊型に分類し，WHO分類ではmetaplastic carcinomaの亜型に分類されている．
- 発生頻度は全乳癌の0.08～0.72%と極めて稀である．
- 紡錘形細胞からなり，肉腫様にみえるが，一部に上皮性性格の明らかな癌細胞巣や扁平上皮化生を示す部がみられることが多い．
- metaplastic carcinomaの多くはtriple negative cancerで，リンパ節転移の頻度は低いが，脳や肺などへの遠隔転移を来たすことが知られている．
- 腫瘍は周囲と境界明瞭な限局性腫瘤で，腫瘍内部に嚢胞を形成することもある．
- しばしば紡錘形細胞肉腫との鑑別を要すが，診断には腫瘍細胞の上皮細胞への分化を証明することと，腫瘍の一部に乳管癌の成分をみつけることが重要．

まとめ

- 紡錘形細胞肉腫との鑑別を要した乳腺 spindle cell carcinoma の１例を報告した.
- 本症例では乳管癌成分は認められなかったが，免疫染色により，腫瘍細胞の上皮細胞への分化が証明され，確定診断に至った.

医療法人 創起会
くまもと森都総合病院

香川大学

細胞診所見：背景→壊死、好中球、組織球、多核巨細胞

核→紡錘形、楕円形、大小不同、腫大、核縁の肥厚なし

組織所見：中心部に凝固壊死。充実性増殖。多稜形、紡錘形の腫瘍細胞、上皮性の腫瘍細胞は認められなった。

免疫染色：vimentin(+) cytokeratin,EMA一部陽性

発生学：①間質に浸潤した通常の乳管細胞が、一見肉腫のような紡錘形の肉腫様細胞に変化した。

②腫瘍化した単一の幹細胞クローンが乳癌細胞と肉腫様細胞に分化した。

岩手大学

細胞診所見：細胞量は多い。腫瘍細胞は異型が強く、多稜形。多核巨細胞

核：類円形～楕円形。多核巨細胞の核は類円形で、2～10個、クロマチンは粗～細顆粒状

組織所見：肉腫様結節性病変の隣接にはST像がみられた。

免疫染色：肉腫様細胞→vimentin,actin(+),keratin.s-100一部陽性

ST部→EMA,cytokeratin,keratin（+）

北里大学

組織所見：紡錘形細胞と上皮性細胞の二種類が出てた。

免疫染色：ER,PgR,HER2(-),Ki-67(+),vimentin(+),AE1/AE3(+)